

# 第123号 舞岡地区連合会・社協だより

## 鯉のぼりフェスタ

「花さかクラブ」はこの「鯉のぼりフェスタ」を共催しています。

4月29日～5月12日、舞岡地区連合会が主催する舞岡川への、14回目となる「鯉のぼりフェスタ」が行われ、期間中は400匹以上の鯉のぼりが300mの河川敷・遊歩道の空を泳ぎました。その多くは地域の小中高の児童・生徒が作成したものや、地域住民の方々の寄付などです。

3日(水)には「鯉のぼりフェスタ」のイベントを舞岡遊水地公園で実施。戸塚東口商店会とのコラボにより実現した、お笑いコンビ『横浜ヨコハマ』による司会と漫才をはじめ、戸塚密着型シンガーソングライターKaho\*さんや複数のアーティストが参加、歌やトークで会場内が一体となって楽しみました。県立舞岡高校吹奏楽部と市立舞岡中学校吹奏楽部による演奏時には来場者数がピークとなり、1300坪を超える公園が住民の方々で溢れんばかりの盛り上がりとなっていました。地域の皆さんの協力で飲食や花苗、手作り品などを販売する屋台の出店も大いに賑わいを見せていました。



実行委員長 金子昇(舞岡第二町内会)

## 舞岡熊之堂遺跡を知る

舞岡町で新たに進められている「舞岡八幡山しぜん公園」に隣接する「墓苑」の計画にあたり、2017年～2020年の発掘調査で縄文時代中～後期、弥生時代後期の集落跡の他、太平洋戦争末期の戦争遺構が見つかり、横浜市歴史博物館でのパネルや出土品の企画展示が行われました。(5/20～6/25)

- ①戦争遺構—太平洋戦争末期に陸軍が置いた「照空隊陣地跡」「照空隊」は「高射砲部隊」と組み防空を担当、「照空灯」という大型のサーチライトで夜間に敵機を照らす部隊でした。
- ②弥生時代・後期(紀元～200年頃)の環濠集落は、およそ50軒の竪穴住居と土器が出土しており、ずれも時代を隔てて重なって発掘されました。
- ③縄文時代・中期(約5000～4500年前)の環状集落、縄文時代・後期(約4200～3800年前)の竪穴住居30軒と土器を出土しています。



①戦争遺構—中隊本部全景



①93式150cm照空灯



②竪穴大型住居の調査風景



①90式小聴音機



③縄文土器



## ～社会を明るくする運動～

## 第14回舞岡音楽まつり

7月15日(土)舞岡地区センターで、舞岡地区社会福祉協議会が主催する【舞岡音楽まつり】が開催されました。テーマは大人も子どもも一緒に歌おう“ふれあいのまち”をめざした楽しい地域の連帯と、家族のきずなを深めようです。澄んだ歌声、美しい音色に聞きほれていました。事務局長 武田美代子

(第二町内会)

### ■“社会を明るくする運動”とは？

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラは、全ての国民が、更生について理解を深め、力を合わせ、犯罪や非行のない安心できる明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

### ■更生保護とは

社会の中での立ち直りを導き、助け、再び犯罪や非行に陥るのを防ぐ仕組みです。その活動には、保護司の協力や雇用主をはじめ、たくさんの人たちが関わっています。必要とされる場所があることは、更生への大きな支えとなります。更生保護は、社会に暮らす人たちが広く関わることで達成される取組なのです。【法務省HPより抜粋】



ピクサウンド(Pixsound)



コーラス風



明治学院大学ゴスペルクワイヤ



舞岡小学校5年生「世界に一つだけの花」



～地域の福祉を担う《舞岡柏尾地域ケアプラザ》のご紹介をしています～

地域ケアプラザで生活支援コーディネーターを担当している高橋と申します。生活支援コーディネーターは、住み慣れた地域で、誰もがいきいきと暮らし続けられるような地域づくりのお手伝いをしています。地域の皆さまや自治会・町内会、ボランティア、民間企業、社会福祉法人、老人クラブ、NPO、専門職などのサービス提供者と一緒に考えて仕組みづくりを進めていけるよう尽力していきます。

主な活動テーマは①交流・居場所、②生活支援、③つながり・見守りの3つです。

①交流・居場所 南舞岡自治会館で開催されているサロンのマカロンや、舞岡台自治会館でのサロンMODなどのお手伝いをしています。また、ケアプラザにおいて、主に定年後の男性の集いの場として「男の教室」を開催したり、かしおのこども食堂の運営をお手伝いしています。

②生活支援 買物に行くことが困難になってきた方のためにコンビニの移動販売を呼んだり、ケアプラザにて「包丁とぎボランティア」などボランティアグループの活動を支援しています。

③つながり・見守り 地震など非常時だけでなく日ごろから安心して暮らすためにも、地域で顔なじみの関係を作っていくことは大切です。これからも「あったらいいな」を地域の「ちから」に、つながり作りのお手伝いをさせていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

社会福祉士 高橋由美子



マカロン(南舞岡自治会館)



MDO(舞岡台自治会館)



「男の教室」包丁研ぎ(ケアプラザ)

～地域の健康をめざして～

## 保健活動推進委員の活動



YOKO  
HAMA  
保健活動推進委員会

舞岡地区保健活動推進委員会は、令和5年3月末の任期終了に伴い、新たに各自治会・町内会から推薦を受け14名（新任者5名、再任者9名）が横浜市より保健活動推進員に委嘱され、4月1日から任期2年間の活動をスタートさせました。今年度の戸塚区の重点取組テーマは「重症化予防のための特定健診・がん検診の普及啓発」です。活動計画は、区民の健康づくり推進事業として「ウォーキングの普及」や「しながら体操の普及」など、また保活員のスキルアップ研修の実施、広報紙の発行などに決まりました。舞岡地区保健活動推進委員会では、この方針に沿って地域に即した活動を推進していきます。

①「しながら体操」講習会と「おとなの体力測定会」の開催 地域住民の健康づくり推進事業として「しながら体操」講習会を8月21日(月)午前10時から、舞岡地区センター中小会議室で舞岡地区社会福祉協議会と共催で行います。7月中旬に舞岡保活だより第52号を回覧しています。また「おとなの体力測定会～いまの健康状態を知ろう～」を9月に舞岡地区センターで、舞岡柏尾地域ケアプラザ及び舞岡地区センターと共催実施する計画です。

② 保健活動推進員のスキルアップ研修会 戸塚区保健活動推進委員会の「薬草で健康に」の研修会が6月6日(火)横浜薬科大学で行われ薬草園の見学と、生薬研究室の飯塚教授から薬草と薬効について「葛根湯の成分7種の内5種は日頃食品として摂っていて、まさに医食同源」「生姜を熱湯加熱し乾燥させたもの、そのまま乾燥させたものと薬効の違い」「エスニック料理で有名なパクチー(コリアンダー)は平安時代から肉・魚の臭い消しに使われていた」など興味深いお話しをお聞きしました。また6月1日(木)戸塚区福祉保健課の大塚保健師から血糖値と糖尿病の関係について研修し、8月には乳がんの触診体験と手洗いチェッカーで手の洗い残しをなくす研修をします。



左: 横浜薬科大学の研修会  
右: 大塚保健師による研修

令和5年度「しながら体操」講習会のお知らせ  
まいか保活だより第52号 舞岡地区保健活動推進委員会

テレビを見ながら、家事をしつつでも、手軽にできる「しながら体操」の講習会です

開催日時 令和5年8月21日(月) 午前10時～午前11時  
(受付 午前9時45分～)

場所 舞岡地区センター-中小会議室  
戸塚スポーツセンター-久保田麻紀 所長

参加募集 先着30名  
申込先 保健活動推進員 黒田 ☎ 045(824)2698  
※ 動きやすい服装、靴で参加してください。

体力測定もできます

舞岡地区社会福祉協議会 共催  
舞岡地区保健活動推進委員会

令和4年度の講習会では、特に足腰力を強化する運動を教えたいただきました。